

**国有林野情報管理システムに係る
運用・支援業務調達仕様書**

林野庁

1. 件名

国有林野情報管理システム運用・支援業務

2. 目的

林野庁においては、電子政府推進計画等に基づき、業務・システムの最適化に取り組み、平成 19 年 4 月より国有林野情報管理システム（以下「刷新システム」という。）の本稼動を実施している。

最適化により刷新した、「刷新システム」に係る稼働環境を確保するに当たり、機器収納施設等及び運用管理業務の外部委託の促進を図ること等の観点から、刷新システムの運用に必要なシステム運用センター（以下「センター」という。）を別途調達し、運用管理を行うこととしている。

本調達は、平成 22 年度の刷新システム運用管理における、システムの運用及び利用者に対する支援業務を実施する、運用・支援業者を調達するものである。

3. 概要

(1) 運用・支援業務

刷新システムに係る運用・支援業務をセンターに常駐して行うこと。詳細については【別紙 1】を参照すること。

なお、刷新システムの運用・支援業務において対象とする機器類は、センター内のマシン室に設置される機器類とし、職員の利用端末については、対象外とする。

また、本調達には、資産の改修を伴うシステム保守は含まないが（別途、システム保守として調達。）、ハードウェア・ソフトウェア自体の保守については、既に調達されているハードウェア保守窓口、ソフトウェアサポートデスクと連携して実施すること。ただし、オープンソースソフトウェア（以下「OSS」という。）に関しては、落札者にて情報収集や障害原因の切り分けを行う体制を確保するものとする。

4. 運用管理業務の提供期間

刷新システムの稼動に必要な運用管理業務の提供期間は以下の通りとする。

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

5. その他

(1) 書類作成

① 刷新システムの定常業務、非定常業務等のシステム運用として行った作業を

記述した作業報告書(形式は任意とする)を作成し、林野庁長官が指定する職員(以下「監督職員」という)へ報告すること。

(2) 刷新システムへの習熟

- ① システム開発業者、機器調達業者、データセンタ運業者等にヒアリングを行って刷新システムの構成を把握し、契約期間開始日(平成22年4月1日)までにオペレーションに習熟すること。本稼動後は、落札者において全ての動作確認等の定常業務を実施すること。

(3) 保守対応

本調達には、資産の改修を伴うシステム保守は含まないが、別紙1-1 No.8「ITサービス財務管理の要望案件に関する設計」にて明記された規模の範囲で吸収可能な軽微な改修については、監督職員と協議の上、実施すること。また、ハードウェア・ソフトウェアの保守自体は、ハードウェア・ソフトウェア調達にて設置されたハードウェア保守窓口、ソフトウェアサポートデスクと連携し、以下に留意して実施すること。

- ① ハードウェア保守窓口、ソフトウェアサポートデスクと連携を行い、刷新システム上で稼動しているソフトウェアの障害・セキュリティ情報を収集し、必要に応じて修正パッチ等を適用すること。
- ② 刷新システムにおける機器調達業者によるハードウェアの定期メンテナンス(年1回)に際し、担当者を立ち合わせ、メンテナンス作業完了後にシステムの動作確認を行うこと。
- ③ OSSに関するサポートは上記ソフトウェアサポートデスクに含まないため、OSSの障害に関する技術支援窓口は、落札者にて用意すること。なお、OSSに起因する障害については別紙1-1 No.3「問題管理のOSS障害管理」に従って対応することとし、OSS自体の改修については本調達の範囲外とする。なお使用しているOSSのバージョンは、Apache(2.0.55)、Tomcat(5.5)、JBoss(4.0.3 SP1)、Struts(1.2)である。
- ④ 資産の改修を伴うシステム保守が必要と判断される障害や改善要望があった場合には、改修の仕様等について調査・検討のうえ、当庁と協議し、必要なプログラム修正にかかる提案・仕様書の作成支援等を行うこと。

(4) 機密保持

- ① 落札者は本契約に関して、全体の作業におけるデータの取扱いについては、「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」、「農林水産省における情報セキュリティに関する対策の基準について」等を遵守すること。なお、本件作業の一部を第三者に委託する場合も同様とする。
- ② 本仕様書に基づく作業に当たって、作業の一部を第三者に委託し、又は請負わせる場合は、その理由、当該業者名、作業内容・範囲について事前に監督

職員に通知し、承認を得ること。

- ③ 落札者は本契約に関して、当庁が開示した情報等を第三者へ漏洩してはならない。

(5) 知的財産等

- ① 落札者は、本契約に関して当庁が開示した情報(公知の情報を除く。以下同じ)及び契約履行過程で生じた納入成果物に関する情報を本契約の目的以外に使用又は第三者に開示若しくは漏洩してはならないものとし、そのために必要な措置を講ずること(本件において知り得た事項については、外部に漏らさぬこと。)
- ② 本契約履行過程で生じた納入成果物に関し、著作権法第 21 条から第 28 条に定める権利を含むすべての著作権及び営業秘密は当庁に帰属し、当庁が独占的に使用するものとする。ただし、落札者は本契約履行過程で生じた著作権営業秘密を自ら使用する場合は、当庁と別途協議するものとする。また、著作者人格権は行使しないものとする。
- ③ 納入成果物に第三者が権利を有する著作物(以下「既存著作物」という。)が含まれる場合は、当庁が特に使用を指示した場合を除き、当該著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約に係る一切の手続きを行うこと。この場合、落札者は当該契約等の内容について事前に監督職員の承認を得ることとし、当庁は既存著作物について当該許諾要件の範囲内で使用するものとする。なお、本仕様書に基づく作業に関し、第三者との間に著作権に係る権利侵害の紛争が生じた場合は、当該紛争の原因が専ら当庁の責めに帰す場合を除き、落札者の責任、負担において一切を処理すること。この場合、当庁はかかる紛争等の事実を知ったときは、落札者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を落札者に委ねる等の協力措置を講じるものとする。

(6) 納品物

運用・支援業務報告書

ただし、本納品物には、【別紙 1】におけるサービスサポートにおける管理項目およびサービスデリバリにおける管理項目の作業内容を含めること。

【別紙1】刷新システムの運用・支援業務に関する要件

1. 主なスケジュール

引継ぎ期間:落札決定日から平成22年3月31日まで

運用:平成22年4月1日から

2. 運用・支援業務概要

(1) 運用・支援業務落札者の役割

落札者は、刷新システムの利用者（林野庁職員延べ約6000名）に対し、安全かつ安定したシステムの提供を実施することを目的とし、運用・支援業務を行うこと。

運用・支援業務にあたっては、監督職員の指示に従い実施すること。また、システムの運用にあたって必要と判断される場合は、落札者が主体となり、関係者（システム開発業者、機器調達業者、データセンタ運営業者、国有林NW運用業者等）間の調整を行うこと。

落札者は、ITILに習熟した上で、ITILの中核となるサービスサポートとサービスデリバリーにおける以下の各プロセスを実施すること。各プロセスの詳細については、【別紙1-1：国有林野情報管理システム運用支援作業体系】を参照すること。各作業内容の実施サービスレベルについては、別途監督職員と協議の上で、SLA（サービスレベル契約）を締結するものとする。

① サービスサポートにおける管理項目

- サービスデスク
- インシデント管理
- 問題管理
- 構成管理
- 変更管理
- リリース管理

② サービスデリバリーにおける管理項目

- サービスレベル管理
- ITサービス財務管理
- キャパシティ管理
- ITサービス継続性管理
- 可用性管理

システム構成等の詳細については、平成21年度調達による【別紙2-1：システム構成図】、【別紙2-2：機器諸元】、【別紙2-3：ネットワーク構成図】、【別紙2-4：機器明細】、【別紙2-5：ラック搭載図】【別紙2-6：国有林野情報管理システムの構成（サブシステム名一覧）】を例示するので、参照すること。

(2) 運用体制等

- ① 運用体制として、運用管理責任者を配置すること。
- ② サービスデスク担当者は、センターに常駐することとする。なお、常駐する要員数はシステムの円滑な運用に支障のない人数を確保すること。
- ③ 原則として、土日祝祭日を除く平日の8時30分から18時30分まで運用要員を配置すること。
- ④ 連絡対応窓口を一元化すること。
- ⑤ 障害時の連絡体制や対応については、監督職員と協議の上、決定すること。
- ⑥ 運用管理責任者はITILの認定試験の合格者で、システム運用経験年数が5年以上である者とし、応札時にはこれを証明する書面の写しを提出すること。
- ⑦ 運用管理責任者は原則として専任とすること。ただし、合理的な理由があり、監督職員が承認した場合に限り兼任も可とするが、兼任によって運用管理業務の品質が低下することの無いよう措置すること。監督職員が兼任により問題が生じたと判断した場合は速やかに専任要員を割り当てること。
- ⑧ 運用要員については以下の事項を満たしていること。
 - 刷新システムの構成を把握し、オペレーションに習熟すること。
 - Linux、WindowsのOSの操作(基本的なコマンド操作)が行えること。
 - ITILに準拠した管理プロセスを理解していること。
 - 統合運用管理ソフトウェア(本システムでは富士通株式会社製 System walker)を用いたシステムの運用経験が1年以上あること
 - OLAPツール(本システムでは富士通株式会社製 Interstage Navigator および株式会社富士通九州システムズ製 Navi イントラエース)を用いたシステムの利用経験が1年以上あること
- ⑨ 運用要員を変更する場合については、事前に監督職員に報告し、担当者の変更に伴い、提供業務の品質低下をもたらすことがないよう措置するとともに、担当者間において業務内容の引継ぎを漏れなく行うこと。
- ⑩ 運用・支援業務の対象機器はセンターに設置した機器一式とする。
- ⑪ 落札者は監督職員の他、関係者（システム開発業者、機器調達業者、データセンタ運営業者、国有林NW運用業者等）と連携を行い、刷新システムの運用・支援業務を遅滞なく実施すること。
- ⑫ 落札者は監督職員の承認を得た範囲内で、本システムの安定した稼働等のた

めに必要となる業務を行うこと。

- ⑬ システム運用に必要な機器（PC、プリンタ等）および消耗品（バックアップ媒体等）は、落札者にて準備すること。

【別紙1-1】国有林野情報管理システム運用支援作業体系

No.	プロセス		支援作業内容／実施頻度		
	ITIL項目	情報システムでの目的／定義	稼働支援の作業項目	稼働支援の作業内容	作業実施頻度
サービスサポート	1 サービスデスク (Service Desk)	サービスデスク (Service Desk)	システム利用者からの問合せ窓口	利用者よりの問い合わせ窓口を一本化し、要件に応じて各担当へ適切な受け渡しを行う。	平日8:30～18:30
			プロジェクト管理	プロジェクトの進捗状況等を管理する。また、必要に応じて、監督職員等、関係者間の調整を主体的に実施する。	随時
			情報提供	監督職員からの指示に従い、システム運用における必要な情報を提供する。	年4回を想定
			月例定例会の実施	定例会を実施する。報告内容については、各ITIL項目の作業項目を基本とするが、詳細については監督職員と別途協議するものとする。	月1回を想定 ※会議資料の準備を要する定例会は月1回とするが、監督職員との意見交換の場を、隔週設けることを想定
			中央研修・現地における職員への指導	中央研修において、刷新システムの操作方法及びデータベースの活用等について必要な指導・教育を行う。また、各森林管理局において、刷新システムにおける新規サブシステムの操作方法等について必要な指導・教育を行う。	高尾研修所で実施される中央研修、及び、各局での講習会のうち、延20日間の講義担当を想定。 ※中央研修の実施時期は平成23年1月を予定
	2 インシデント管理 (Incident Management)	インシデント管理 (Incident Management)	インシデントの記録および解決	システム利用者から報告されたインシデント・質問を記録・管理する。インシデントの解決に向け、インシデント管理のプロセスに沿って、判断・指示を行う。また、要望内容については、都度林野庁原課への承認および必要な情報の提供を行う。	平常月50件、繁忙期70件の対応を想定 目標値： 平均着手日数：4開庁日 平均完了日数：5開庁日(着手後) ※但し、月間件数を超過した場合、目標値は無効となる ★件数をおさえる取り組みとして、本庁から全国に、「基本的に問合せを局にてとりまとめてから問合せをあげる」「FAQや早分かり等マニュアルを確認してから問合せをあげる」という周知を、定期的実施する。 ★想定件数、対応目標値については、本庁一局にて共有し、毎月の対応実績を報告するフローとする。(月間件数を超過した場合、目標値は無効となる点も周知) ★問い合わせ内容に複数の項目が含まれる場合は、その項目毎にそれぞれを1件のインシデントとカウントする。 ★要望案件については、問い合わせ対応の平均着手日数目標値からは対象外とする。
			インシデント管理(問題管理含む)における定性分析	定期的にインシデント管理(問題管理)の発生傾向を分析し、報告を行う。	月1回を想定 ※月例定例会における報告を想定
			FAQ向け情報の抽出・提供	システムに関する問合せ対応FAQ向け情報の抽出し、本庁原課への提供を行う。	年4回を想定
	3 問題管理 (Problem Management)	問題管理 (Problem Management)	インシデント管理からの切り分け実施	利用者からの問い合わせのうち、要望・障害等、問題管理が必要な案件の切り分けを実施する。障害については、改修時期を明確に判別すること。	月15件の対応を想定
			OSS障害管理	OSSに起因する障害発生時には、回避策の検討を行い、修正規模の見積をもつて監督職員と協議する。アプリケーション等資産の改修を伴う、問題解決は別途調達されるシステム保守受注業者が実施する。(またOSSそのものの改修は実施しない。)	随時 ※必要に応じて、サポートデスク契約等、体制を確保すること
	4 構成管理 (Configuration Management)	構成管理 (Configuration Management)	ハードウェア・ソフトウェア・OSS管理	システムで使用しているハードウェア・ソフトウェア・OSSの管理を行う。	月1回を想定
			アプリケーション等資産管理	システムで使用しているアプリケーション等資産の管理を行う。	月1回を想定
運用保守ドキュメント管理			管理対象文書(マニュアル、会議記録)を策定し、履歴管理、最新性管理、文書管理体系の維持を行う。 ※ただし、マニュアルの内容自体の改修作業は作業対象外とする。(改修作業は、機能追加や改修等の調達に含まれる作業とする)	月1回を想定	

【別紙1-1】国有林野情報管理システム運用支援作業体系

プロセス		支援作業内容／実施頻度			
サービスサポート	5 変更管理 (Change Management)	変更管理 (Change Management)	年度更新支援	森林情報の樹立作業用DBから樹立時DBへの反映及び最新DBの経年変化を行う。	年1回を想定
			金融機関の定期的変更	金融機関マスタの定期更新を行う。	月1回を想定
			科目変更の対応	経理サブシステム、林道サブシステム、造林サブシステムの科目変更に伴う科目設定作業を行う。	年1回を想定
			共通マスタの変更	全国統一の共通マスタの変更に対応する。共通マスタとは以下のマスタ情報と定義する。 ・業務用語マスタ ・組織マスタ ・メニューマスタ ・ジョブネット定義 ・レイアウト定義 ・レイアウト定義 ・金融機関マスタ ・都道府県マスタ ※但し、業務用語マスタについては、利用者側管理者にて対応可能な業務用語は対象外とする ※業務用語マスタは、毎月月初に最新のものを監督職員が指示する場所へアップすることとする。 ※組織マスタは、年度末に最新のものを監督職員が指示する場所へアップすることとする。	月4回を想定(業務用語マスタのガールーンアップは月1回を想定。組織マスタのガールーンアップは年1回を想定。)
			練習用環境整備	練習用環境整備のため、最新マスタの反映を行う。	年1回を想定
			事業統計	事業統計のデータ抽出(GSV作成)を行う。 ※ただし、EXCELシートおよび集計PGの様式変更対応については、作業対象外とする。	年1回を想定
			データ修正	利用者からの依頼に対し、データ修正を実施する。なお、データ修正については、直近のアプリケーション等資産の導入のタイミングで実施する。 ただし、勤務簿修正による確定解除については、依頼後即対応を行うこととする。	月15件の対応を想定
				森林情報サブシステムおよび収穫サブシステム、造林サブシステムにおける以下の変更について、調査およびデータ修正作業を実施する。 ・本庁および局からの要請による一括データ修正 ・全国DBの作成 ・官行造林地の名称変更に伴う調査およびデータ修正 ・林小班の変更によるデータ整備	月2件の対応を想定
			(市区町村合併対応)	市区町村合併に伴うデータ修正作業を実施する。あわせて、都道府県マスタの変更に対応する。	【H22年度の発生有無については、本庁殿に要確認】
			委託販売対応	製品販売サブシステムにおいて、森林管理局向けに普通販売から委託販売へデータコンバートを実施する。	年1回(年度末)を想定
	信用非営業日の設定	契約情報入力において祝日のエラーチェックを実施するために、信用非営業日の設定を実施する。	年1回の対応を想定 ※12月にむこう3年分を反映すること		
	GISシステムへのデータ受渡し	刷新システムにおいて日々更新されるデータについて、GISシステムへのデータ受渡しを実施する。上記のデータ修正作業により発生した手修正内容について、受け渡しデータへの反映を行うこと。また、データ受渡し対象のテーブル定義に変更が発生した場合、監督職員への報告を行うこと。 ※刷新システムからの受渡し用データファイルの作成については自動化されている。データの取得はGISシステム運用支援業者側で毎月の第一開庁日に実施することとする。	月1回を想定		
サービスサポート	6 リリース管理 (Release Management)	リリース管理 (Release Management)	貸出管理	システム保守もしくは追加開発等で必要な際に、資産の貸出・返却を管理する。	月4回を想定
			アプリケーション等資産の導入	システム保守もしくは追加開発等で作成された新規資産をシステムに適用する。 ただし、資産の適用は安全性を考慮し、運用保守環境における開発業者による検証、練習用環境における当庁職員による検証を経て、本番環境に導入することとする。	月2回を想定 (平日業務終了後19:00～23:00程度)
サービスデリバリー	7 サービスレベル管理 (Service Level Management)	サービスレベル管理 (Service Level Management)	サービスレベルの整備	平成22年度の運用支援調達に向け、評価指標の収集を行い、サービスレベルの再定義を行う。本年度のサービスレベルについては、本調達においてSLAの策定を行う。	年1回を想定
			8 ITサービス財務管理 (IT Financial Management)	ITサービス財務管理 (IT Financial Management)	問題解決の見積実施 問題解決を実施する場合の影響度や作業工数等の超概算見積を提示する。
			要望案件に関する設計	開発の必要な要望案件に対する人員を確保し、設計作業を行う。	1人/月の作業量を想定

【別紙1-1】国有林野情報管理システム運用支援作業体系

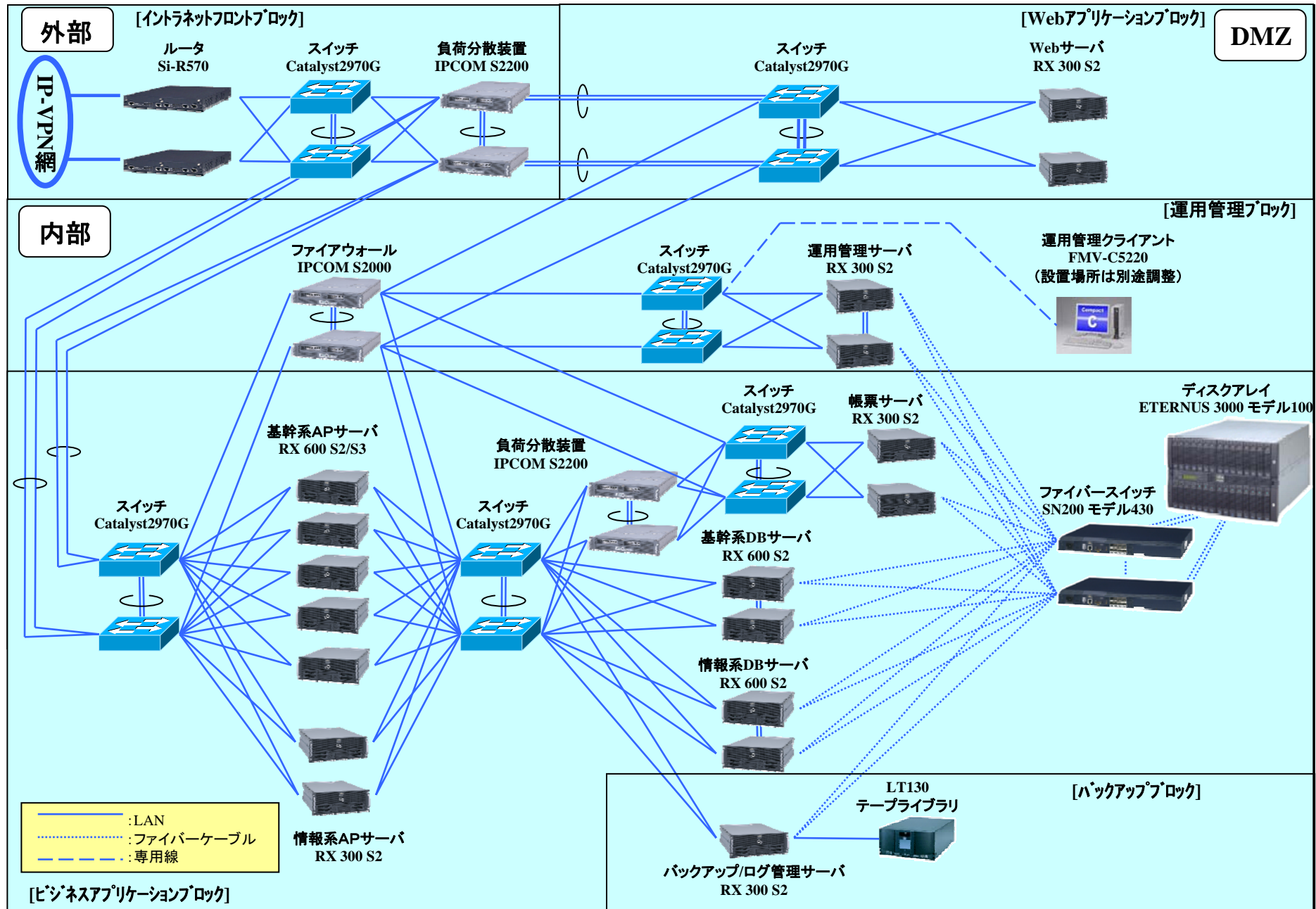
プロセス		支援作業内容／実施頻度			
9	キャパシティ管理 (Capacity Management)	キャパシティ管理 (Capacity Management)	性能情報監視	システムで使用しているリソース(性能情報)に関するメッセージを監視する。 また、画面表示レスポンスタイムを一定間隔で測定・監視する。(レスポンスの測定はデータセンター内のネットワークから特定Web画面における表示時間を測定する)	定常作業 目標値: レスポンスタイム:10秒 測定は業務時間内とし1回/時間の頻度で実施。目標値を超過する場合は、問題提起を実施し、ITサービス財務管理で提案を行う
			キャパシティ分析・報告・対策	・サーバ機のCPU、メモリ、ディスク容量や回線等のシステムリソース使用状況を調査し、レスポンス悪化やシステムリソース枯渇等の性能問題に直面せぬよう分析を行い、問題が想定される場合、随時報告する。また、業務開始時間における動作確認を実施すること。 ・上記一次切り分け後の対応方法を明確にする。	定常作業
10	ITサービス継続性管理 (IT Service Continuity Management)	ITサービス継続性管理 (IT Service Continuity Management)	更新データの日次バックアップ	業務差分データ(トランザクションログ)のバックアップ完了監視を実施する。	定常作業 ※媒体提出は月1回(1セット)を想定
			業務データの月次バックアップ	業務データの状態把握、調査、復旧の為、業務システムの全テーブルデータのバックアップ作業を実施する。	月1回(1セット)を想定
			システム全体の年次バックアップ	システム全体のバックアップを実施する。実施タイミングは監督職員と調整すること。	年2回(1セット)を想定
			テープドライブ装置のクリーニング	テープドライブ装置のクリーニングを実施する。(必要なクリーニング媒体等は、落札者にて準備すること。)	月4回を想定
			ハードウェア定期メンテナンスへの立会い	リース業者によるハードウェアの定期メンテナンスに立会い、メンテナンス完了後、動作確認を実施する。	年1回を想定
			ハードウェアのファームアップ	ストレージ装置、S/W等ハードウェア全般のファームアップ作業を実施する。作業前後の電源断/投入等の機器操作、完了後の動作確認を含む。また、運用保守環境に適用可能な場合は、経過観察の後、本番環境への適用を実施すること。	年3回を想定(本番環境・運用保守環境それぞれ)
			システム復旧マスタ媒体の維持・管理	上記、バックアップ媒体の管理を実施する。また、システム復旧手順の最新化を行う。	月1回を想定
			マシン室の温度管理	マシン室の温度管理の通知先となり、異常時に対応を実施する。	定常作業
			セキュリティパッチの適用	システムで使用しているOS、商用ソフトウェア、OSSについてパッチの適用計画を策定する。ただし、パッチの適用にあたっては、監督職員と協議の上、適用の可否を検討することとする。また、ソフトウェアのメジャーバージョンアップは基本的に対象外とする。 パッチ適用前後はシステムバックアップの取得を行う。 又、Windowsクライアント(本番運用管理クライアント、運用保守管理クライアント、構成管理サーバ)のWindowsUpdateを行う。	年3回を想定(本番環境・運用保守環境それぞれ)
11	可用性管理 (Availability Management)	可用性管理 (Availability Management)	メッセージ監視・対策	統合運用管理ソフトウェア(本システムでは富士通会社製Systemwalker)上に定期的に出力される以下の各種メッセージを確認し、各サーバの稼働監視を定期的に行う。ただし、ビープ音が発生する等、緊急の場合は、監督職員へ連絡を行った上で一時対応を行い、必要に応じて関係部門へ対処を依頼すること。 ・システムで利用しているアプリケーションが出力するメッセージ ・システムのバックアップに関するメッセージ ・サーバ機、ネットワーク機の稼働状況に関するメッセージ ・ハードウェア障害に関するメッセージ ・商用ソフトウェアの障害に関するメッセージ ・OSSの障害に関するメッセージ ・日次パッチ処理に関するメッセージ ・メッセージ監視にて発見した問題点の、一次切り分け及び対応方法を明確にする。	定常作業 目標値: 稼働率:98% ※業務が停止した時間のみを対象とし、冗長構成の一部機器ダウン等業務の継続が可能な場合は含めない
			障害訓練	障害発生時を想定して、訓練用シナリオの作成を行う。	年2回(半期1回)を想定

サービスデリバリー

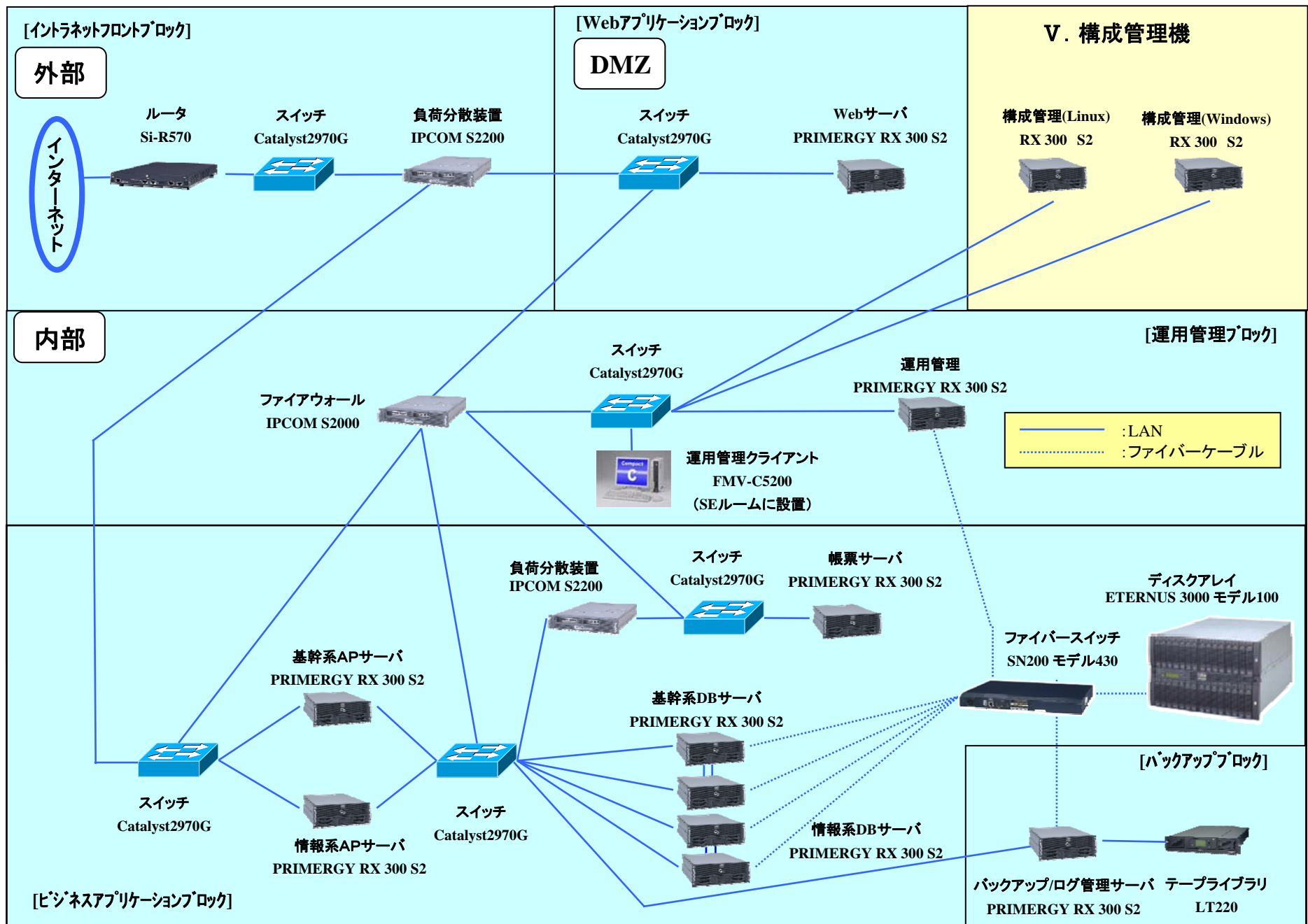
【別紙1-1】国有林野情報管理システム運用支援作業体系

プロセス		支援作業内容／実施頻度		
サービスデリバリー		ログ管理	上記メッセージ等、システム上で収集されたログの管理を行う。 刷新システムへのアクセス状況について報告を行う。	定常作業 月4回を想定 ※対象のログはApacheのアクセスログおよびJbossの動作ログおよびFWのアクセスログとする ※業務メニューの利用実績については、月例定例会にて報告すること
		セキュリティ対策	ウイルス感染が発覚した場合は、該当機器を直ちにネットワークから切り離し、他機器類への感染の有無、影響を確認し、監督職員に報告を行う。	年2件の対応を想定
		定期リポート対応	システムの安定性を高めるために必要と考えられる場合において、機器の再起動を定期的実施する。	年6回を想定
		施設管理	SEルーム、マシン室、ならびにサーバラック等の管理を実施する。ただし、センター管理者が鍵の管理を行う場合は、それに従うこととする。	定常作業

【別紙2-1】システム構成図



本番機群構成図



運用保守機群構成図

【別紙 2 - 2】機器諸元

(1) PRIMERGY RX300 S2(サーバ)

<適用対象>

- ・本番機 Web サーバ/情報系 AP サーバ/帳票サーバ/本番機 バックアップ/ログ管理サーバ
/運用管理サーバ
- ・運用保守機 Web サーバ/基幹系 AP サーバ/帳票サーバ/基幹系 DB サーバ/情報系 DB サーバ
/バックアップ/ログ管理サーバ/運用管理サーバ/構成管理サーバ



モデル名 (タイプ)	PRIMERGY RX300 S2(Linux インストール代行サービスバンドル)	
CPU	64 ビット Intel Xeon3. 20EGHz	
プロセッサ数	1~2	
L2 キャッシュ	2MB	
メモリ	最大 16GB	
内蔵 HDD	最大 1800GB	
内蔵 CD-ROM ドライブ	24 倍速	
テープ(オプション)	DAT 装置 (DAT72 対応) (オプション)	
ネットワーク (標準装備)	2 ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T×2 択一、自動認識)	
拡張バススロット	PCI-X ×5[64bit/133MHz(LowProfile)×2, 64bit/100MHz(LowProfile)×3]	
インタフェース	ディスプレイ(アナログ RGB、D-SUB15 ピン)	
	シリアルポート(D-SUB9 ピン)×2	
	USB×4、キーボード(PS/2 タイプ MiniDIN6 ピン) マウス(PS/2 タイプ MiniDIN6 ピン)	
サーバ監視ソフト	ServerView 標準添付	
電源	入力電圧(周波数)/ 入力コネクタ	AC100V(50/60Hz)/二極接地型×1(最大 2)
	消費電力/発熱量	最大 657W/2, 365kJ/h
エネルギー消費効率	0.0130(区分 F)	
外形寸法(mm)	W445(483 突起部含む)×D717(756 突起部含む)×H88 (2U)	
質量	最大 30kg	

PRIMERGY RX300 S2 外観および仕様

(2) PRIMERGY RX600 S2(サーバ)

<適用対象>

- ・本番機 基幹系 AP サーバ/基幹系 DB サーバ/情報系 DB サーバ



モデル名 (タイプ)	PRIMERGY RX600(Linux インストール代行サービスバンドルタイプ)	
CPU	64 ビット Intel Xeon プロセッサ MP3. 33GHz	
プロセッサ数	2~4(標準:2)	
キャッシュ メモリ	L2 キャッシュ	1MB
	L3 キャッシュ	8MB
メモリ	最大 32GB	
内蔵 HDD	146. 8GB(10, 000rpm) × 2 (RAID1)	
内蔵 CD-ROM ドライブ	最大 24 倍速	
テープ(オプション)	DAT 装置 (DAT72 対応) (オプション)	
ネットワーク (標準装備)	2 ポート(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T × 2 択一、自動認識)	
拡張バススロット	PCI-Express × 4 [(x8) × 1、(x4) × 3] (ホットプラグ対応)	
	PCI-X[64bit/133MHz(ホットプラグ対応) × 1	
	64bit/100MHz(ホットプラグ非対応) × 2]	
インタフェース	ディスプレイ (アナログ RGB、D-SUB15 ピン) × 2	
	シリアルポート (D-SUB9 ピン)	
	USB × 5	
サーバ監視ソフト	ServerView 標準添付	
電源	入力電圧(周波数) /入力コネクタ	AC200V(50/60Hz)/引掛型 3P ロック (NEMA L6-15 準拠) × 2
	消費電力/発熱量	最大 1, 00W/3, 960kJ/h
エネルギー消費効率	0. 015(区分 F)	
外形寸法(mm)	W447(482. 6 突起部含む) × D706(737. 0 突起部含む) × H176. 0 (4U)	
質量	最大 50kg	

PRIMERGY RX600 S2 外観および仕様

(3) ETERNUS3000 モデル 100(ストレージ装置)



モデル	ETERNUS3000 モデル 100 ラックマウント	
サポート RAID	0、1、0+1、5	
記憶容量	物理容量	180GB~9.0TB
	論理容量	最大 6.14TB
コントローラー数	2	
ホストインタフェース	ファイバチャネル(2Gbps)	
ホストインタフェース数 (ファイバチャネル)	4	
ディスクドライブ数	5~30 台	
ディスクドライブ容量	36GB/15,000rpm 73GB/10,000rpm, 73GB/15,000rpm 146GB/10,000rpm, 146GB/15,000rpm 300GB/10,000rpm	
ホストインタフェース	ファイバチャネル (2Gbps)	
その他インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX×4 (2/コントローラ)	
外形寸法	コントローラーエンクロージャ	482×592×176mm (4U)
	ドライブエンクロージャ	483×595×130mm (3U)
	ACコンセントボックス	480×261×83mm (1U)
重量	コントローラーエンクロージャ	56kg
	ドライブエンクロージャ	42kg
	ACコンセントボックス	2kg
電源	電圧(周波数)/電源プラグ	AC100V~240V (50/60Hz) 平行 2P アース付き (NEMA5-15P)×2
	消費電力/発熱量	最大 1,140W/4,104kJ/h

ETERNUS3000 モデル100 外観および仕様

(4) Si-R570(ルータ)



モデル名	Si-R570	
基本インタフェース	10/100/1000BASE-T×4	
拡張スロット数	6(SFP×2+スロットタイプL×2+スロットタイプH×2)	
適応回線	<ul style="list-style-type: none">・ L2-VPN サービス(ワイド LAN などの広域イーサネット)・ ブロードバンドサービス(フレッツ ADSL、B フレッツ、CATV 等)・ ATM サービス(シェアリンク、メガリンク、メガデータネット等)・ 高速デジタル専用線/フレームリレー(64K/128Kbps、192~1.5Mbps)・ INS ネット 64、1500(23B+D)	
ルーティング プロトコル	IPv4	static、RIP、RIPv2、OSPFv2、BGP4
	IPv6	static、RIPng、IPv6/IPv4 Dual Stack、IPv6 over IPv4 tunnel
冗長電源	電源二重化	
電 源	入力電圧(周波数) 入力コンセント	AC100V(50/60Hz) 平行3ピン(アース端子付き)
	消費電力 発熱量	最大 70W/252kJ/h
	外形寸法(mm)	W430×D425×H43.5(1U)
質量	8.5kg	

Si-R570 外観および仕様

(5) IPCOM S2200 (負荷分散装置)



モデル名	IPCOM S2200	
WAN インタフェース	10/100/1000BASE-T×2	
LAN インタフェース	10/100/1000BASE-T×8	
IP ルーティング	RIP/OSPF/BGP4	
IP sec アクセラレーター	標準装備	
レイヤー7 帯域制御 (制御可能帯域幅)	1.5Gbps (全二重)	
レイヤー7 負荷分散 (性能)	940Mbps	
SSL アクセラレーター (性能)	2,000tps	
ホットスタンバイ	対応	
冗長電源	電源二重化	
電源	入力電圧(周波数)/入力コンセント	AC100V(50/60Hz) 平行3ピン (アース端子付き)
	消費電力/発熱量	最大 365W/1,314kJ/h
外形寸法(mm)	W444×D724×H87 (2U)	
質量	22kg	

IPCOM S2200 外観および仕様

(6) IPCOM S2000 (ファイアウォール)



モデル名	IPCOM S2000	
WAN インタフェース	10/100/1000BASE-T×2	
LAN インタフェース	10/100/1000BASE-T×8	
IP ルーティング	RIP/OSPF/BGP4	
IP sec アクセラレーター	標準装備	
レイヤー7 帯域制御 (制御可能帯域幅)	200Mbps (全二重)	
レイヤー7 負荷分散 (性能)	95Mbps	
SSL アクセラレーター (性能)	1,400tps	
ホットスタンバイ	対応	
冗長電源	電源二重化	
電源	入力電圧(周波数)/入力コンセント	AC100V(50/60Hz) 平行3ピン (アース端子付き)
	消費電力/発熱量	最大 350W/1,260kJ/h
外形寸法(mm)	W444×D724×H87 (2U)	
質量	22kg	

IPCOM S2000 外観および仕様

(7) Catalyst 2970G (スイッチングハブ)



モデル名	Catalyst 2970G-24T-E	
バックプレーン帯域	24Gbps	
パケット処理能力	35.7Mpps	
DRAM	128M	
Flash	16M	
10/100/1000BASE-T ポート数	24	
ネットワーク管理	SNMP、RMON	
その他	VLAN(802.1Q)、CoS 優先順位設定、ファストイーサチャンネル、IGMPsnooping、アドバンスド QoS、ジャンボフレーム対応	
設置 諸元	外形寸法 W×D×H(mm)	445×326×44mm(1U)
	質量(kg)	4.55kg
	電源/電源コンセント形状	AC100V、平行3ピン(アース端子付き)
	消費電力(W)	160W

Catalyst 2970G 外観および仕様

(8) ETERNUS SN200 モデル 430(ファイバチャネルスイッチ)



モデル名	ETERNUS SN200 モデル 430	
標準規格	FC-AL ANSI X3.272 FC-AL-2 NCITS 332 FC-FLA NCITS TR-20 FC-GS-2 NCITS 388 FC-GS-3 Rev. 7.0.1 FC-ANSI X3.289 FC-MI Rev. 1.5 FC-PH ANSI X3.230 FC-PH ANSI X3.297 FC-PH ANSI X3.303 FC-PLDA NCITS TR-19 FC-SW NCITS 321 FC-SW-2 Rev. 4.9	
転送能力	ファイバチャネル 4Gbps(全二重), 2Gbps(全二重), 1Gbps(全二重)	
スループット	最大 64Gbps	
アーキテクチャー	ノンブロッキング共用メモリスイッチ	
レイテンシー	2.1us 未満	
最大フレームサイズ	2112 バイト	
メディア タイプ	SWL (短波長)	SFP
	LWL (長波長)	SFP
ポート数	16	
接続距離	SWL	最大 500m(1Gbps), 300m(2Gbps), 150m(4Gbps)
	LWL	10Km(1Gbps, 2Gbps)
ファブリックサービス	シンプルネームサーバ、ゾーニング、WEBTOOLS	
外部インタフェース	イーサネット(10/100Base-T)、RS-232C	
電源条件	AC100V(50/60Hz) 平行 3ピン (アース端子付き)	
所要電力	最大 66W/216kJ/h	
外形寸法	W429×D307×H43 (1U)	
質量	4kg	

ETERNUS SN200モデル430 外観および仕様

(9) ETERNUS LT220(テープライブラリ装置)



モデル名	ETERNUS LT220	
最大収納カートリッジ数	16 巻	
総記憶容量	Ultrium3 カートリッジ (非圧縮)	6.4TB
	Ultrium2 カートリッジ (非圧縮)	3.2TB
テープドライブ仕様 (Ultrium3 カートリッジ)	転送速度	80MB/秒(非圧縮時)
	記憶容量	400GB/秒(非圧縮時)
平均アクセス時間	16 秒	
搭載コンポーネント	ロボット	1
	テープドライブ	1
ホスト・インタフェース	SCSI(Ultra160)	
ホスト・インタフェース数	1	
電源条件	AC100V(50/60Hz) 平行2ピンアース付き	
所要電力/発熱量	最大 110W/396kJ/h	
外形寸法	W481×D826×H89 (2U)	
質量	25kg (テープ媒体質量含まず)	

ETERNUS LT220 外観および仕様

(10) ETERNUS LT130(テープライブラリ装置)



モデル名	ETERNUS LT130		
収納カートリッジ数	30 巻		
総記憶容量 (非圧縮時)	Ultrium1 カートリッジ	3TB	
	Ultrium2 カートリッジ	6TB	
	Ultrium3 カートリッジ	12TB	
テープドライブ仕様	Ultrium2 ドライブ	転送速度	30MB/秒(非圧縮時)
		記憶容量	200GB/秒(非圧縮時)
	Ultrium3 ドライブ	転送速度	80MB/秒(非圧縮時)
		記憶容量	400GB/秒(非圧縮時)
搭載コンポーネント	ロボット	1	
	テープドライブ	2	
ホスト・インタフェース	SCSI (LVD)		
電源条件	AC100V(50/60Hz) 平行2ピンアース付き		
所要電力	最大 110W/396kJ/h		
外形寸法	W424×D787×H222 (2U)		
質量	30.4kg (最大構成時)		

ETERNUS LT130 外観および仕様

(11) FMV-D5220(運用管理クライアント)



モデル名 (タイプ)	FMV-D5220	
CPU	Pentium4 3.20GHz	
プロセッサ数	1	
1次キャッシュ	12K μ Ops 実行トレース+16KBS データ (CPU 内蔵)	
2次キャッシュ	2MB (CPU 内蔵)	
BIOS	Phoenix Trust core BIOS	
メモリ	1GB	
内蔵 HDD	80GB (7,200rpm)	
内蔵光学ドライブ	DVD-ROM&CD-R/RW	
内蔵 FDD	3.5" 720KB/1.2MB/1.44MB	
ネットワーク	1ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応)	
キーボード、マウス	OADG キーボード、PS/2 スクロールマウス添付	
拡張スロット	PCI-2.3 準拠 : PCI (ハーフサイズ \times 1, BT0 用 \times 1) \times 2	
インタフェース	ディスプレイ (アナログ RGB、D-Sub15 ピン)	
	シリアルポート (D-SUB9 ピン) \times 1	
	USB2.0 \times 6、キーボード&マウス (PS/2 タイプ MiniDIN6 ピン)	
電源	入力電圧 (周波数) / 入力コネクタ	AC100V (50/60Hz) / 平行 2P アース付 \times 1
	消費電力、発熱量	通常時 66W
エネルギー消費効率	0.00017 (区分 P)	
外形寸法 (mm)	W179 \times D338 \times H344 (縦置フット取付時)	
質量	約 7.6kg	

FMV-D5220 外観および仕様

(12) FMV-C5200(運用管理クライアント)



モデル名 (タイプ)	FMV-C5200	
CPU	Pentium4 3EGHz	
プロセッサ数	1	
1次キャッシュ	12K μ Ops 実行トレース+16KBS データ (CPU 内蔵)	
2次キャッシュ	1MB (CPU 内蔵)	
BIOS	Phoenix BIOS 4.0 Release6	
メモリ	1GB	
内蔵 HDD	80GB (7,200rpm)	
内蔵光学ドライブ	DVD-ROM&CD-R/RW	
内蔵 FDD	3.5" 720KB/1.2MB/1.44MB	
ネットワーク	1ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応)	
キーボード、マウス	OADG キーボード、PS/2 スクロールマウス添付	
拡張スロット	PCI-2.3 準拠 : PCI (ハーフサイズ \times 1, BT0 用 \times 1) \times 2	
インタフェース	ディスプレイ (アナログ RGB、D-Sub15 ピン)	
	シリアルポート (D-SUB9 ピン) \times 1	
	USB2.0 \times 6、キーボード&マウス (PS/2 タイプ MiniDIN6 ピン)	
電源	入力電圧 (周波数) / 入力コネクタ	AC100V (50/60Hz) / 平行 2P アース付 \times 1
	消費電力、発熱量	通常時 67W
エネルギー消費効率	0.00025 (区分 P)	
外形寸法 (mm)	W175 \times D321 \times H328 (縦置フット取付時)	
質量	7.2kg	

FMV-C5200 外観および仕様

(13) スリムラック (基本 40U/増設 40U)

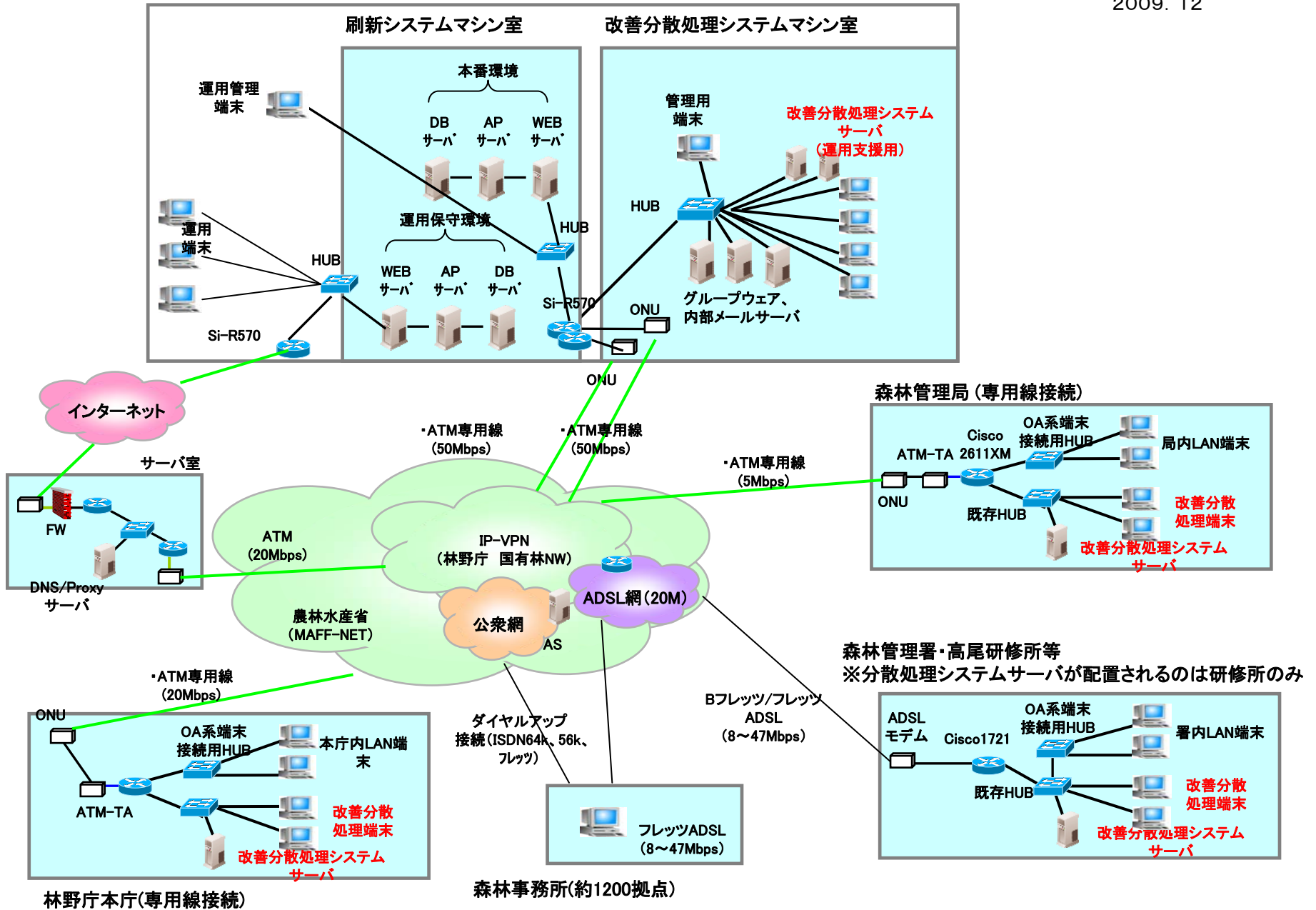
モデル名 (タイプ)	GP5-R1RC6/GP5-R1RC7
仕様	基本 40U/増設 40U
規格	19 インチ EIA 準拠
収納U数	40U
高さ幅奥行(mm)	2000 x 600 x 900
キャスター	標準添付
アジャスター	標準添付
サイドカバー	標準添付/なし
ラック質量(自重)	160 kg/125 kg
最大搭載質量	600 kg
最大質量 (自重+搭載質量)	760 kg/725 kg

40Uスリムラック仕様

【別紙2-3 国有林ネットワーク全体構成】

電子計算センター

2009. 12



ハードウェア	基幹系DBサーバ × 2	PRIMERGY RX600 (Linuxインストール代行サービス) スパンドルタイプ / フレイ-147GB × 2 (RAID1)) Xeon(TM) MP 3.33GHz/8MB × 2	PGR60264L2	2			
		※ハード 基本サーバ (AS4.0)	PGBRU4BD	2			
		(カ) 基本RAMモジュール変換機構-4GB	PGBDT501	2			
		(カ) 内蔵DAT72ユニット	PGB128	2			
		(カ) SCSIカード	PGB128	2			
		(カ) SCSIケーブル	PGB128	2			
		(カ) LANカード (1000BASE-T)	PGB1892	4			
		(カ) ファイバチャネルカード	PGBFC201	4			
		LANカード (1000BASE-T)	PG-286	2			
		CPU追加 (Xeon MP 3.33GHz/8MB)	PG-FG209	4			
		拡張RAMボード	PG-RB105	2			
		拡張RAMモジュール-4GB	PG-RM4BD	4			
	情報系DBサーバ × 2	PRIMERGY RX600 (Linuxインストール代行サービス) スパンドルタイプ / フレイ-147GB × 2 (RAID1)) Xeon(TM) MP 3.33GHz/8MB × 2	PGR60264L2	2			
		※ハード 基本サーバ (AS4.0)	PGBRU4BD	2			
		(カ) 基本RAMモジュール変換機構-4GB	PGBDT501	2			
		(カ) 内蔵DAT72ユニット	PGB128	2			
		(カ) SCSIカード	PGB128	2			
		(カ) SCSIケーブル	PGB128	2			
		(カ) LANカード (1000BASE-T)	PGB1892	4			
		(カ) ファイバチャネルカード	PGBFC201	4			
		LANカード (1000BASE-T)	PG-286	2			
		CPU追加 (Xeon MP 3.33GHz/8MB)	PG-FG209	4			
		拡張RAMボード	PG-RB105	2			
		拡張RAMモジュール-4GB	PG-RM4BD	4			
ディスクレイ	ETERNUS モデル100 フラックマウント ベース装置 (4ポートタイプ)	ACセンサーボックス (100V)	E310R14D	1			
		ドライブエンクロージャ	E310RT1	1			
		72GB/15krpmディスク × 5 (RAID5)	E310RE2	1			
		スタートアップ / ストレージ オープン基本 ETERNUS3000モデル100	E310DD7HZ	6			
		スタートアップ / ストレージ オープン基本 サーバ追加 (1台毎)	SV3902A3BG	1			
		スタートアップ / ストレージ オープン基本 サーバ追加 (1台毎)	SV3902BWBG	7			
		スタートアップ / ストレージ オープン FCスイッチ (1台毎)	SV3902BXXG	2			
		ETERNUS SN200モデル430ファイバチャネルスイッチ (4G/16port)	SN2DM43B	2			
		マルチモードケーブル (LC-LC 2m) SN200-SN200接続	CBL-MLLB02	1			
		マルチモードケーブル (LC-LC 20m)	CBL-MLLC20	18			
		SWL SFPモジュール (モデル430/モデル480用)	SN2DSWSFP	24			
		フラックマウントキット (SN200モデル430/モデル480用)	SN2DRMKT	2			
	ソフトウェア	基幹系DBサーバ	PRIMECLUSTER HA Server サーバライセンス 2CPUmodel 4.2A00	B515TL482	4		
			ETERNUS マルチストライク for Entry Model V2.x	B021102H0	2		
			Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス (エージェント用) V13	B515C4D81	6		
			Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用)	B515D7D81	6		
			Symfoware Server Enterprise Edition プロセッサライセンス V8.0	B5159L881	6		
			PRIMECLUSTER HA Server サーバライセンス 2CPUmodel 4.2A00	B515TL482	2		
		情報系DBサーバ	ETERNUS マルチストライク for Entry Model V2.x	B021102H0	2		
			Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス (エージェント用) V13	B515C4D81	2		
			Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用)	B515D7D81	2		
			Symfoware Server Enterprise Edition プロセッサライセンス V8.0	B5159L881	2		
			Interstage Charset Manager Standard Edition Agent プロセッサライセンス V8	B5159F881	4		
			Interstage Navigator Server Enterprise Edition V8.0L10 プロセッサライセンス	B515EN881	4		
バックアップ	ハードウェア	PRIMERGY RX300 S2 (Linuxインストール代行サービス) スパンドルタイプ / フレイ-300GB × 2 (RAID1)) Xeon(TM) 3EGHz	PGR30233L6	1			
		(カ) 基本CPU変換機構 (Xeon(TM) 3.0GHz/2MB → Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	1			
		(カ) Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	1			
		(カ) 基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1			
		(カ) 内蔵DAT72ユニット (ドライブケース付)	PGBDT502D2	1			
		(カ) SCSIカード (LowProfile)	PGB130L	1			
		(カ) 内蔵電源ユニット	PGBPU117	1			
		(カ) ファイバチャネルカード	PGBFC107	2			
		LT130 (LT02、2ドライブ、30巻、SCSI-LVD接続)	LT13ALB2	1			
		(カ) SCSIカード (LowProfile)	PGB130L	1			
		SCSIケーブル	PG-CBLS005	2			
		LT130 接続設定費用	SV3902A9BG	1			
	ソフトウェア	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1			
		PRIMECLUSTER GLS サーバライセンス 2CPUmodel 4.2A00	B515TN482	1			
		ETERNUS マルチストライク for Entry Model V2.x	B021102H0	1			
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス (エージェント用) V13	B515C4D81	2			
		Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用)	B515D7D81	2			
		NetVault7 ライブラリ30モデル 20	B5154S7HF	1			
		運用管理	ハードウェア	負荷分散装置	IPCOM S2000 (SSLなし) 2台セット	IS200A2	1
				スイッチ	Catalyst2970G-24T-E 本体	LCS297G24	2
				運用管理サーバ × 2	PRIMERGY RX300 S2 (Linuxインストール代行サービス) スパンドルタイプ / フレイ-147GB × 2 (RAID1)) Xeon(TM) 3EGHz	PGR30234L6	2
					(カ) 基本CPU変換機構 (Xeon(TM) 3.0GHz/2MB → Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	2
					(カ) Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	2
					(カ) 基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	2
拡張RAMモジュール-2GB (1GB DIMM × 2)	PG-RM2BC		2				
(カ) 内蔵DAT72ユニット (ドライブケース付)	PGBDT502D2		2				
運用管理クライアント	FMV-D5220 WinXP Proモデル キーボード付		FMVD62C011	1			
	(カ) CPU変更 Celeron(R) D 336 → Pentium(R) 4 630		FMXCXPD6	1			
	(カ) メモリ変更 256MB → 1GB (DDR2 SDRAM/PC2-4200)		FMXCM4D7	1			
	(カ) HDD変更 40GB (SATA) → 80GB (SATA)		FMXCD2W7	1			
	(カ) DVD-ROM&CD-R/RW (薄型) 追加	FMXCBD4S	1				
	カラー液晶ディスプレイ-19 (VL-191VS)	VL-191VS	1				
共通部品	19インチフラック (スリム/40U) フラック-4	GP5-R1RC6	2				
	増設用フラック (スリム/40U) フラック-4	GP5-R1RC7	2				
	OAケーブル (8口、100V/12A)	GP5-R1TP1	7				
	フラットディスプレイ	PG-R1DP3	4				
	CRT/KB切替器 (8CH)	PG-SB105	4				
	CRT/KBケーブル (1.8m)	PG-CBLDP02	17				
	FDDユニット (USB) RX600用	EMFD-51S	1				
	ツイストペアケーブル (5m)	TPCBL-C005	80				
	クロスケーブル	E308CLC1	24				
	DAT (DDS4)	-	34				
	LTOテープ (Ultrium2 7年-カトリッジ)	-	30				
	LTOクリーニングテープ	-	2				

ソフトウェア	運用管理サーバ	RedHat AS4.0 (OSサーバ)	SV78B013R	1
		PRIMECLUSTER HA Server サーバライセンス 2CPUmodel 4.2A00	B515TL48Z	2
		ETERNUS マルチバーストライセンス for Entry Model V2.x	B021102HO	2
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス(Manager用) V13	B515BYD81	2
		Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Manager用) V13	B515D4D81	2
	運用管理クライアント	Systemwalker CentricMGR クライアントライセンス	B5140GBDE	1
		Interstage List Creator テキスト V7.0L20 (帳票サーバ List Creatorと連携)	B5140B77C	1
		(カ)Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003追加	FMC-AP149	1
	ウイルス対策	Norton Ghost 10.0	-	1
		F-SeCure Linuxサーバセキュリティ	-	1
		F-SeCure アンチウイルス Linuxサーバ版	-	16
		F-SeCure アンチウイルス Windows版 V5.52	-	1
	メディア(別途手配要)	F-SeCure アンチウイルス Windows版 リカバリー V5.52	-	1
		PRIMECLUSTERメディアパック 4.2A00	B515TJ4B1	1
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition メディアパック V13 Linux版	B515K0DB1	1
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition メディアパック V13 Windows版	B5140FYDC	1
		Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition メディアパック V13 Linux版	B515K4DB1	1
		Symfoware Server Enterprise Edition メディアパック V8.0	B515918B1	1
		Interstage Navigator Server Enterprise Edition メディアパック V8	B515EN8B1	1
		Interstage Charset Manager Standard Edition Agent メディアパック V8	B5159F8B0	1
	Jビシ 汎用運用パッケージ メディアパック V8	B515VK8B0	1	

(2) 運用保守機明細表

ブロック名	タイプ	種別	装置名	型名	数量			
イントラネットフロント	ハードウェア	ルータ	Si-R570 フレインストームRV30	STR570V31	1			
			Si-R700S PRI拡張モジュール2	SIR37PR	1			
		スイッチ	Catalyst2970G-24T-E 本体	LCS297G24	1			
			負荷分散装置	IPCOM S2200 (機能ルータ,ファイアウォール,負荷分散,二重化構成)	IS2200A2	1		
Web アプリケーション	ハードウェア	Webサーバ	Catalyst2970G-24T-E 本体	LCS297G24	1			
			PRIMERGY RX300 S2 (Linuxインストール代行サービス)サーバタイプ /ブレイ-73GB×2 (RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30237L6	1			
			(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	1			
			(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	1			
			(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1			
			(ケ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	1			
			(コ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1			
			(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU117	1			
			ソフトウェア	Webサーバ	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1	
					Systemwalker Centric Manager Enterprise Editionプロセッサライセンス(エージェント用) V13	B515C4D81	2	
	Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Agent for Server用) V13	B515D7D81			2			
	apache (当庁が入手する)	-			1			
	ビジネス アプリケーション	ハードウェア			スイッチ	Catalyst2970G-24T-E 本体	LCS297G24	2
						PRIMERGY RX300 S2 (Linuxインストール代行サービス)サーバタイプ /ブレイ-147GB×2 (RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30237L6	1
						(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	1
	ビジネス アプリケーション	ハードウェア	基幹系APサーバ	(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	1		
				(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1		
拡張RAMモジュール-2GB(1GB DIMM×2)				PG-RM2BC	1			
(ケ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)				PGBDT502D2	1			
(コ)SCSIカード(LowProfile)				PGB130L	1			
(カ)内蔵電源ユニット				PGBPU117	1			
(キ)LANカード(LowProfile)(1000BASE-T)				PGB1892L	2			
(カ)LANカード(LowProfile)(1000BASE-T)				PGB1892L	2			
情報系APサーバ			PRIMERGY RX300 S2 (Linuxインストール代行サービス)サーバタイプ /ブレイ-147GB×2 (RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	1		
				(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	1		
				(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1		
				拡張RAMモジュール-2GB(1GB DIMM×2)	PG-RM2BC	1		
				(ケ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	1		
				(コ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1		
				(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU117	1		
				(キ)LANカード(LowProfile)(1000BASE-T)	PGB1892L	2		
負荷分散装置	IPCOM S2200 (機能ルータ,ファイアウォール,負荷分散,二重化構成)	IPCOM S2200 (機能ルータ,ファイアウォール,負荷分散,二重化構成)	IS2200A2	1				
		Catalyst2970G-24T-E 本体	LCS297G24	1				
ビジネス アプリケーション	ハードウェア	帳票サーバ	PRIMERGY RX300 S2 (Linuxインストール代行サービス)サーバタイプ /ブレイ-147GB×2 (RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30237L6	1			
			(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	1			
			(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	1			
			(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1			
			(ケ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	1			
			(コ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1			
			(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU117	1			
			(キ)ファイバーチャネルカード	PGBFC107	2			
			ビジネス アプリケーション	ソフトウェア	基幹系APサーバ	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1
						Systemwalker Centric Manager Enterprise Editionプロセッサライセンス(エージェント用) V13	B515C4D81	2
Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Agent for Server用) V13	B515D7D81	2						
Symfoware Server Enterprise Edition クライアントライセンス	B515P6881	2						
Interstage List Creator Connector 7.x	B515LV7H1	1						
JEシス用運用パッケージ プロセッサライセンス V8	B515VK881	2						
Tomcat (当庁が入手する)	-	1						
Tboss (当庁が入手する)	-	1						
Struts (当庁が入手する)	-	1						
ビジネス アプリケーション	ソフトウェア	情報系APサーバ				RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1
			Systemwalker Centric Manager Enterprise Editionプロセッサライセンス(エージェント用) V13	B515C4D81	2			
			Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Agent for Server用) V13	B515D7D81	2			
			Symfoware Server Enterprise Edition クライアントライセンス	B515P6881	2			
			Naviイントラネ-スV4.0 基本 1CPUライセンス付	A20907542	1			
			Naviイントラネ-スV4.0 追加CPUライセンス	A20907542	1			
			JEシス用運用パッケージ プロセッサライセンス V8	B515VK881	2			
			Tomcat (当庁が入手する)	-	1			
			ビジネス アプリケーション	ソフトウェア	帳票サーバ	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1
						ETERNUS マルチプラットフォーム for Entry Model V2.x	B021102H0	1
Systemwalker Centric Manager Enterprise Editionプロセッサライセンス(エージェント用) V13	B515C4D81	2						
Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Agent for Server用) V13	B515D7D81	2						
Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0 1CPU付き	B515937H1	1						
Interstage List Creator Enterprise Edition 追加プロセッサライセンス V7.0	B51594781	1						
JEシス用運用パッケージ プロセッサライセンス V8	B515VK881	2						
Tomcat (当庁が入手する)	-	1						

ハードウェア	基幹系DBサーバ × 2	PRIMERGY RX300 S2(Linuxインストール代行サーバ)ハードウェア/アレイ-147GB×2(RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30234L6	2	
		(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	2	
		(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	2	
		(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	2	
		拡張RAMモジュール-2GB(1GB DIMM×2)	PG-RM2BC	2	
		(カ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	2	
	(キ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	2		
	(ク)内蔵電源ユニット	PGBPU117	2		
	(ケ)LANカード(LowProfile)(1000BASE-T)	PGB1892L	2		
	(コ)ファイバーチャネルカード	PGBFC107	2		
	情報系DBサーバ × 2	PRIMERGY RX300 S2(Linuxインストール代行サーバ)ハードウェア/アレイ-147GB×2(RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30234L6	2	
		(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	2	
(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB		PGBFG253	2		
(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB		PGBRU2BC	2		
拡張RAMモジュール-2GB(1GB DIMM×2)		PG-RM2BC	2		
(カ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)		PGBDT502D2	2		
(キ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	2			
(ク)内蔵電源ユニット	PGBPU117	2			
(ケ)LANカード(LowProfile)(1000BASE-T)	PGB1892L	2			
(コ)ファイバーチャネルカード	PGBFC107	2			
ディスクアレイ	ETERNUSモジュール100 フラックマウント ベース装置(4ポートタイプ)	73GB/15krpmディスク×5(RAID5)	E310R14B1	1	
		ETERNUS_SN200モジュール4307ファイバーチャネルスイッチ(4G/16port)	E310C07HZ	3	
		マルチポートケーブル(LC-LC 20m)	SN20M43B	1	
		SWL SFPモジュール(モジュール430/モジュール480用)	CBL-MLLC20	7	
		フラックマウントキット(SN200モジュール430/モジュール480用)	SN20WSFPB	9	
		スタートアップ/ストレージオープン基本 ETERNUS3000モジュール100	SN20RMKT	1	
	スタートアップ/ストレージオープン基本サーバ追加(1台毎)	スタートアップ/ストレージオープン基本 ETERNUS3000モジュール100	SV3902A3BG	1	
		スタートアップ/ストレージオープン基本サーバ追加(1台毎)	SV3902BWBG	4	
		スタートアップ/ストレージオプション FCスイッチ(1台毎)	SV3902BVBG	2	
ソフトウェア	基幹系DBサーバ	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	2	
		PRIMECLUSTER HA Server サーバライセンス 2CPUmodel 4.2A00	B515TL482	2	
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition7 ロセツライセンス(エージェント用) V13	B515C4D81	2	
		Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition7 ロセツライセンス(Agent for Server用) V13	B515D7D81	2	
		Symfoware Server Enterprise Edition7 ロセツライセンス V8.0	B5159L881	2	
	情報系DBサーバ	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	2	
		PRIMECLUSTER HA Server サーバライセンス 2CPUmodel 4.2A00	B515TL482	2	
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition7 ロセツライセンス(エージェント用) V13	B515C4D81	2	
		Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition7 ロセツライセンス(Agent for Server用) V13	B515D7D81	2	
		Symfoware Server Enterprise Edition7 ロセツライセンス V8.0	B5159L881	2	
		Interstage Charset Manager Standard Edition Agent7 ロセツライセンス V8	B5159F881	4	
Interstage Navigator Server Enterprise Edition V8.0L107 ロセツライセンス	B515EN881	4			
バックアップ	ハードウェア	PRIMERGY RX300 S2(Linuxインストール代行サーバ)ハードウェア/アレイ-300GB×2(RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30233L6	1	
		(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	1	
		(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	1	
		(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1	
		(カ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	1	
		(キ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1	
	(ク)内蔵電源ユニット	PGBPU117	1		
	(ケ)ファイバーチャネルカード	PGBFC107	1		
	LT220 (LT03、1ドライブ、16巻、SCSI)	LT22ALC1	1		
	(キ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1		
	SCSIケーブル	PG-CBLS008	1		
	ソフトウェア	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1	
Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition7 ロセツライセンス(エージェント用) V13		B515C4D81	2		
Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition7 ロセツライセンス(Agent for Server用) V13		B515D7D81	2		
運用管理	ハードウェア	負荷分散装置	IPCOM S2000 (SSLなし)	IS2000A2	1
		スイッチ	Catalyst2970G-24T-E 本体	LCS297G24	1
		運用管理サーバ	PRIMERGY RX300 S2(Linuxインストール代行サーバ)ハードウェア/アレイ-147GB×2(RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30234L6	1
		(カ)基本CPU変換機構(Xeon(TM) 3.0GHz/2MB→Xeon(TM) 3.2GHz/2MB)	PGBFU253	1	
		(キ)Xeon(TM) プロセッサ 3.2GHz/2MB	PGBFG253	1	
		(ク)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1	
	拡張RAMモジュール-2GB(1GB DIMM×2)	PG-RM2BC	1		
	(カ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	1		
	(キ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1		
	(ク)内蔵電源ユニット	PGBPU117	1		
	(ケ)ファイバーチャネルカード	PGBFC107	1		
	運用管理クライアント	FMV-C5200	FMVC42P111	1	
CPU変更 Celeron(R)D 330→Pentium(R)4 3E GHz	FMCCXPBC1	1			
メモリ変更 256MB→1GB (DDR SDRAM/PC3200)	FMCCXM4C6	1			
HDD変更 40GB→80GB (IDE)	FMCCXD2W4	1			
CD-ROMドライブユニット変更→DVD-ROM&CD-R/RW	FMCCXBC2	1			
カラー液晶ディスプレイ - 19	VL-190VS	1			
構成管理サーバ	PRIMERGY RX300 S2(Linuxインストール代行サーバ)ハードウェア/アレイ-300GB×2(RAID1))Xeon(TM) 3EGHz	PGR30233L6	1		
(カ)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1			
(カ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	1			
(キ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1			
(ク)内蔵電源ユニット	PGBPU117	1			
構成管理サーバ	PRIMERGY RX300 S2(Windows Server(TM) 2003 アレイタイプ-300GB×2(RAID1))Xeon(R) 3EGHz	PGR30233S6	1		
(カ)基本RAMモジュール変換機構-2GB	PGBRU2BC	1			
(カ)内蔵DAT72ユニット(ドライブケース付)	PGBDT502D2	1			
(キ)SCSIカード(LowProfile)	PGB130L	1			
(ク)内蔵電源ユニット	PGBPU117	1			

共通部品		19インチラック(スリム/40U)ラック-4	GP5-R1RC6	1	
		増設用ラック(スリム/40U)ラック-4	GP5-R1RC7	1	
		OAタップ (8口、100V/12A)	GP5-R1TP1	2	
		フラットディスプレイ	PG-R1DP3	2	
		CRT/KB切替器(8CH)	PG-SB105	2	
		CRT/KBケーブル(1.8m)	PG-CBLDP02	12	
		ツイステドペアケーブル(5m)	TPCBL-C005	28	
		カスケードアダプタ	F9190HC5	2	
		クロスケーブル	E308CLC1	5	
		DAT(DDS4)	-	28	
		LTOテープ (Ultrium2テープカートリッジ)	-	5	
		LTOクリーニングテープ	-	2	
		CD-R	-	50	
	ソフトウェア	運用管理サーバ	RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1
			Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス(Manager用)V13	B515BYD81	2
運用管理クライアント		Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Manager用) V13	B515D4D81	2	
		Systemwalker CentricMGR クライアントライセンス	B5140GBDE	1	
構成管理サーバ		Interstage List Creator デモ版 V7.0L10 (帳票サーバ List Creatorと連携)	B5140B77C	1	
		(株)Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003追加	FMC-AP149	1	
		Norton Ghost 10.0	-	1	
		RedHat AS4.0 (OSサポート)	SV78B013R	1	
		Jビシ 専用運用パッケージ プロセッサライセンス V8	B515VK881	1	
(Linux)		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス (エージェント用) V13	B515C4D81	1	
		Interstage Charset Manager Standard Edition Agent プロセッサライセンス V8	B5159F881	2	
構成管理サーバ		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス (エージェント用) V13	B515C4D81	1	
		SIMPLIA/SC-Manager V1	A296COEB	1	
		Microsoft(R) SQL Server(TM) 2005 Standard Edition 日本語版 1 プロセッサライセンス	B5140DT1C	1	
		PowerGEM Plus V6.2	B298C2714	1	
		MS Office Professional Ent 2003 GOLP-A	E2885B6BGA	1	
ウイルス対策		BrightStor ARCserve Backup r11.5 for Windows - Japanese	B5140JA1C	1	
		F-Secure Linuxサーバセキュリティ	-	1	
		F-Secure アンチウイルス Linuxサーバ版	-	10	
メディア(別途手配要)		F-Secure アンチウイルス Windows版 V5.52	-	1	
		F-Secure アンチウイルス Windows版 ワークステーション V5.52	-	1	
		PRIMECLUSTERメディアセット 4.2A00	B515TJ4B1	1	
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition メディアセット V13 Linux版	B515K0DB1	1	
		Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition メディアセット V13 Windows版	B5140FYDC	1	
		Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition メディアセット V13 Linux版	B515K4DB1	1	
		Symfoware Server Enterprise Edition メディアセット V8.0	B515918B1	1	
		Interstage Navigator Server Enterprise Edition メディアセット V8	B515EN8B1	1	
		Interstage Charset Manager Standard Edition Agent メディアセット V8	B5159F8B0	1	
		Jビシ 専用運用パッケージ メディアセット V8	B515VK8B0	1	

【別紙2-6】

国有林野情報管理システムの構成(サブシステム名一覧)

グループ	システム	サブシステム	処理の概要
経営管理	森林管理	森林情報管理	森林調査簿・伐採造林計画簿・林班沿革簿作成・管理などを処理
	森林整備	収穫	予定簿・実行簿作成、収穫調査復命書の作成、材積計算などを処理
		造林	予定簿・実行簿作成、造林調整簿の作成、進行管理などを処理
		林道	予定簿・実行簿作成、進行管理、林道台帳の管理などを処理
		治山	個別別計画表作成、工事成績評定一覧作成、治山工事台帳・保安林管理道台帳の管理などを処理
	森林保全管理	保安林管理	保安林情報入力、保安林台帳作成などを処理
		境界管理	境界巡検等の予定・実行管理、境界検測等予定・実行管理、境界現況表の作成、標識原簿管理などを処理
		保護林管理	保護林等情報登録・検索、保護林等整備事業資料情報管理、保護林台帳の参照などを処理
	国民へのサービス提供	共生林管理	巨樹巨木情報管理、設定森林情報検索・登録、管理経営方針書検索・登録などを処理
		森林空間総合利用事業	イベント実績・事業実施状況の管理などを処理
	林産物供給	立木販売	立木価格評定、販売計画、進行管理などを処理
製品生産		素材検知野帳・生産予定・完了情報入力等、進行管理などを処理	
製品販売		素材価格評定、販売計画、進行管理などを処理	
資金管理	経理・決算	歳出予算管理	歳出予算登録、支出負担行為示達入力などを処理
		支出管理	債主登録、支出負担行為情報入力、支出負担行為決議書の作成、支出負担行為日計表印刷などを処理
		収入管理	債務者登録、契約情報入力、契約書作成などを処理
		決算	科目別表作成、3機能計算、資産情報取込、財務諸表作成などを処理
総務	財産管理	財産管理	財務省データ作成、帳票作成などを処理
	物品管理	物品管理	物品供用情報登録、減価償却、物品異動通知書の作成などを処理
	雇用管理	雇用情報	基職勤務簿作成、実行内訳書作成などを処理
	文書管理	行政文書	行政文書登録、完結等に関する一連の事務、行政文書ファイル管理簿作成などを処理
	貸付・使用等管理	貸付・使用等管理	国有林野の貸付・使用台帳等の管理及び地域振興資料の作成などを処理
	分収林管理	分収育林	顧客の管理、顧客への保育状況・生育状況等の通知書作成などを処理
分収造林		分収造林台帳の登録、各種帳票作成などを処理	

国有林野情報管理システムに係る運用・支援業務に関する契約書（案）

- 1 件名 国有林野情報管理システムに係る運用・支援業務
- 2 仕様等 別添仕様書のとおり
- 3 契約金額 金 _____円
(うち消費税及び地方消費税額 _____円)
- 4 契約期間 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
- 5 契約保証金 免除する。

支出負担行為担当官 林野庁長官 島田泰助（以下「甲」という。）と _____
_____（以下「乙」という。）とは、国有林野情報管理システムに係る運用・支援業務に係る契約を締結し、各当事者は、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

契 約 条 項

（信義誠実の原則）

第1条 甲及び乙は、信義に従って誠実にこれを実施するものとする。

（契約の目的）

第2条 乙は、別添「仕様書」に基づく国有林野情報管理システムの運用・支援業務を行うものとする。

（月額以外の請負金額の算定）

第3条 請負事業に要した日数が1か月に満たない場合は、次の式により算定する。

請負金額＝月額の請負金額×（運用日数÷当該月の現日数）

2 消費税及び地方消費税額は、前項の請負金額に5パーセントを乗じた額とする。

（成果品の提出）

第4条 乙は、請負事業を実施した成果について、仕様書に定める成果品を甲に提出するものとする。

(検査)

第5条 甲は、乙から前条に規定する報告書の提出を受けた場合は、速やかに検査を行うものとする。

- 2 甲は、検査の結果、不当な箇所を発見したときは、乙に対し相当の日時を定めて補修を請求することができる。この場合、乙は直ちに補修をしなければならない。
- 3 不当な箇所の補修に要する経費は、すべて乙の負担とする。

(請負代金の請求及び支払等)

第6条 乙は、暦月ごとに甲に対し請負代金を請求するものとする。

- 2 甲は、適法な支払請求書を受領した日から起算して30日以内に、請負代金を支払うものとする。
- 3 甲は、自己の責に帰す事由により、前項の支払期限までに請負代金を支払わないときは、支払期限の翌日から支払をするまでの日数に応じ、当該未払金額に対し、年3.6パーセントの割合で計算した額を遅延利息として、乙に支払うものとする。

(請負事業の監督・調査等)

第7条 甲はこの契約の履行に関し甲の指定する職員（以下「監督職員」という。）に乙の業務を監督させ、必要な指示をさせるものとする。

- 2 甲は、必要があると認めるときは、請負事業の実施状況、その他必要な事項について報告を求め、又は実地に調査することができるものとする。
(契約違反による契約の解除等)

(契約の解除)

第8条 甲は、甲の必要により、この契約の全部又は一部を解除することができる。この場合、契約金額を変更する必要があるときは、甲、乙協議して定めるものとする。

- 2 甲は、次に掲げる各号の一に該当する場合には、この契約の全部又は一部を解除することができる。この場合、乙が損害を被ることがあっても、甲は、その責を負わないものとする。
 - (1) 乙が、天災その他乙の責に帰することができない理由により、この契約の解除を申し出た場合
 - (2) 乙が、この契約に違反し若しくは違反するおそれがあると認められる場合、又は正当な理由がなく義務を履行せず若しくは履行する見込みがないと認められる場合
 - (3) 乙が、この契約に関し不正行為を行った場合
 - (4) 乙が、破産の宣告を受けた場合又はそのおそれがあると認められる場合
 - (5) 乙が、乙の都合により、この契約の解除を申し出た場合
- 3 甲は、乙がこの契約に違反した場合は、既に支払った金額の全部又は一部の返還を乙に請求することができる。

(契約解除による違約金)

第9条 甲は、前条第2項第1号に定める理由によりこの契約を解除した場合には、乙に対し違約金を請求しないものとする。

2 甲は、前条第2項第2号から第5号までに掲げる理由によりこの契約を解除した場合には、違約金として、契約金額の100分の10に相当する金額の支払いを乙に請求することができる。

(談合等の不正行為に係る解除)

第10条 甲は、この契約に関し、乙が次の各号の一に該当するときは、契約の全部又は一部を解除することができる。

- (1) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。)第7条又は第8条の2(同法第8条第1項第1号又は第2号に該当する行為の場合に限る。)の規定による排除措置命令を行ったとき、同法第7条の2第1項(同法第8条の3において読み替えて準用する場合を含む。)の規定による課徴金納付命令を行ったとき又は同法第7条の2第13項若しくは第16項の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行ったとき。
 - (2) 乙又は乙の代理人(乙又は乙の代理人が法人にあっては、その役員又は使用人を含む。)が刑法(明治40年法律第45号)第96条の3若しくは第198条又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号の規定による刑の容疑により公訴を提起されたとき。
- 2 乙は、この契約に関して、乙又は乙の代理人が前項各号に該当した場合には、速やかに、当該処分等に係る関係書類を甲に提出しなければならない。

(談合等の不正行為に係る違約金)

第11条 乙は、この契約に関し、次の各号の一に該当するときは、甲が前条により契約の全部又は一部を解除するか否かにかかわらず、契約金額の100分の10に相当する額を違約金として甲が指定する期日までに支払わなければならない。

- (1) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して独占禁止法第7条又は第8条の2(同法第8条第1項第1号又は第2号に該当する行為の場合に限る。)の規定による排除措置命令を行い、当該排除措置命令が確定したとき又は同法第66条第4項の規定による審決において、同法の規定に違反する行為があった旨が明らかにされたとき。
 - (2) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して独占禁止法第7条の2第1項(同法第8条の3において読み替えて準用する場合を含む。)の規定による課徴金納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき又は同法第66条第4項の規定による審決において、同法の規定に違反する行為があった旨が明らかにされたとき。
 - (3) 公正取引委員会が、乙又は乙の代理人に対して独占禁止法第7条の2第13項又は第16項の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行ったとき。
 - (4) 乙又は乙の代理人(乙又は乙の代理人が法人にあっては、その役員又は使用人を含む。)に係る刑法第96条の3若しくは第198条又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号の規定による刑が確定したとき。
- 2 乙は、前項第4号に規定する場合に該当し、かつ次の各号の一に該当するときは、前項の契約金額の100分の10に相当する額のほか、契約金額の100分の5に相当する額を違約金として甲が指定する期日までに支払わなければならない。

い。

- (1) 前項第2号に規定する確定した納付命令について、独占禁止法第7条の2第6項の規定の適用があるとき。
- (2) 前項第4号に規定する刑に係る確定判決において、乙又は乙の代理人（乙又は乙の代理人が法人にあつては、その役員又は使用人を含む。）が違反行為の首謀者であることが明らかになったとき。
- (3) 乙が甲に対し、独占禁止法等に抵触する行為を行っていない旨の誓約書を提出しているとき。
 - 3 乙は、契約の履行を理由として、前2項の違約金を免れることができない。
 - 4 第1項及び第2項の規定は、甲に生じた実際の損害の額が違約金の額を超過する場合において、甲がその超過分の損害につき賠償を請求することを妨げない。

(再委託の制限)

第12条 乙は、請負契約の全部を一括して、又は主たる部分を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない

なお、主たる部分とは、業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断等をいうものとする。

- 2 乙は、この請負事業達成のため、請負事業の一部を第三者に委任し、又は請け負わせること（以下「再委託」という。）を必要とするときは、あらかじめ甲の承認を得なければならない。ただし、再委託ができる事業は、原則として委託費の限度額に占める再委託又は再請負金額の割合（「再委託比率」という。以下同じ。）が50パーセント以内の業務とする。
- 3 乙は、前項の再委託の承認を受けようとするときは、当該第三者の氏名又は名称、住所、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額について記載した書面を甲に提出しなければならない。

ただし、本請負事業の仕様書において上記内容が記載されている場合にあつては、甲の承認を得たものとする。
- 4 乙は、前項の書面に記載した事項を変更しようとするときは、あらかじめ甲の承認を得なければならない。
- 5 乙は、この請負事業達成のため、再々委託又は再々請負（再々委託又は再々請負以降の委託又は請負を含む。以下同じ。）を必要とするときは、再々委託又は再々請負の相手方の氏名又は名称、住所及び業務の範囲を記載した書面を、第2項の承認の後、速やかに甲に届け出なければならない。
- 6 乙は、再委託の変更に伴い再々委託又は再々請負の相手方又は業務の範囲を変更する必要がある場合には、第3項の変更の承認の後、速やかに前項の書面を変更し、甲に届け出なければならない
- 7 甲は、前二項の書面の届出を受けた場合において、この契約の適正な履行の確保のため必要があると認めるときは、乙に対して必要な報告を求めることができる。
- 8 再委託する業務が委託業務を行う上で発生する事務的業務であつて、再委託比率が50パーセント以内であり、かつ、再委託する金額が100万円以下である場合には、軽微な再委託として第2項から前項の規定は、適用しない。

(所有権等の移転)

第13条 乙が提出した成果品に係る所有権は、第5条に定める検査に合格したときに、甲に移転するものとする。

2 乙がこの請負事業により取得した著作権は、甲に帰属するものとする。

3 乙は、この請負事業に関して、第三者と著作権について紛争が生じたときは、乙の責任において処理するものとする。

(業務の引継ぎ)

第14条 乙は、本契約に定める業務により蓄積した専門知識を文書化し、本業務が完了した後は、甲が指示した時期、方法により、新たに受注した者に本契約に関わる業務に必要な専門知識等の引継ぎを行わなければならない。

(秘密の保持)

第15条 甲及び乙は、この契約の履行に当たり知り得た相手方の秘密に属する事項を他に漏らし、又は他の目的に使用してはならない。

(損害賠償)

第16条 乙は、この契約を履行するに当たり、甲に損害を与えたときは、乙の負担においてその損害の賠償を行うものとする。

(協議)

第17条 この契約に関して疑義を生じたとき、又はこの契約に定めのない事項については、甲、乙協議して定めるものとする。

ただし、軽微なものについては、甲の解釈及び指示に従うものとする。

(紛争等の解決)

第18条 この契約について、甲、乙協議を要するものにつき協議が調わないとき又は甲と乙との間に紛争が生じたときは、両者の協議により選出した第三者の調停により解決するものとする。

2 前項の規定による解決のために要する一切の費用は、甲、乙平等の負担とする。

この契約締結の証として、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各1通を保有する。

平成 年 月 日

甲 東京都千代田区霞が関1-2-1
支出負担行為担当官
林野庁長官 島田 泰助

乙